

介護教育講習会 シラバス

1. 科目名 介護過程の展開方法

2. 「介護過程の展開方法」の学びへのご招待

3. 科目担当者及び学生

介護教員を目指す、向上心が豊かな、福祉・医療専門職の皆さんと、担当教員・福祉を極める事を目標としている、吉田志保（よしだ しほ）[佐野日本大学短期大学 講師]です。

4. 授業時間

9月 5日（日）9時30分～16時30分、9月12日（日）9時30分～16時30分
11月13日（土）9時30分～12時40分 *その他（予習、復習、アサインメント）

5. 実施教室

Zoomでの開講。 詳細は、17. 本講におけるオンライン学習での学び方 を参照してください。

6. 皆さんと担当講師のコミュニケーション

――問い合わせ・連絡先――
授業で使用するレジュメ（課題）の提出先で使う、事務局のアドレスは、
kaikyordi2019@yahoo.co.jpを使っていますので、何かございましたら、ご連絡ください。

また、授業担当者（吉田志保）への質問等は、XXXXXXXXXXへご連絡ください。なお、個別での回答には2～3日、内容によっては1週間前後の時間をいただく場合がございますので、ご承知ください。

7. メイン・テーマ

介護福祉士養成のための「利用者の望む生活を実現するため」に必要な、「思考と実践を教授する方法」

8. キーワード

・介護過程の展開 ・思考過程 ・利用者一人ひとりの希望（ニーズ） ・QOL（生活の質）の向上 ・根拠に基づいた介護 ・情報収集 ・アセスメント ・解釈・関連付け・統合化 ・課題の抽出 ・目標の立案 ・具体的な方法 ・計画実施 ・評価 ・再アセスメント ・チームアプローチ ・多職種連携 ・リスクマネジメント

9. 学習の目的

学習の目的…「利用者の望む生活の実現」に向けて、学生達が主体的に「介護過程」を展開し、根拠に基づく介護実践を伴う課題解決の思考過程が習得できるよう教授することを目的とする。

1 0 . 達成課題

達成課題としては、学生達が以下を理解・実践できるよう支援する力量の習得。

- ①各領域で学んだ知識と技術を統合し、介護過程の意義・目的について、学生達が理解できるよう伝える力量。
- ②介護実践に必要な観察力・判断力及び思考過程について、学生達が理解できるよう伝える力量。
- ③利用者の望む生活の実現のために必要な情報（アセスメント）とは何かを、学生が主体となり自ら考えることができる力量。
- ④本人の望む生活の実現に向けて、生活課題の分析を行い、根拠に基づく介護実践を伴う課題解決の思考過程を学生達が習得できる力量。
- ⑤学生達が介護過程を展開し、それを文章で他者にわかる形で伝える事ができる力量。
- ⑥介護過程の展開を理解し、個別の事例を通じて実践に必要な技術の確認や社会資源の活用、道具の準備などをおこない、利用者の状態や状況に応じた介護過程の展開を学生達ができる力量。
- ⑦学生達が実習の中で、実践に基づいた介護過程の展開を行うことができる力量。
- ⑧チームアプローチ（多職種連携）での介護過程の展開について理解し、学生達が介護福祉士として必要な意見を伝えることができる力量。

1 1 . 授業の方法

「介護過程」について、介護福祉士養成教育のカリキュラムに組み込まれたのは、2009年4月からであり、それまで他の科目の中で多少、取り上げられているだけでした。またカリキュラムに組み込まれてからも介護福祉施設では、さまざまな理由から浸透していない現実があります。

この授業は、「介護過程の展開方法」について、基礎的な事柄を理解した上で、アクティブラーニング（グループワーク、ロールプレイ等）を用い、実際に介護教員を目指す受講生自身が、事例について「介護過程」を展開、それを言語化し、文章におこしてみることで、どのような説明を学生に伝えれば理解が深まるのかを体験的に理解していきます。

1 2 . テキスト・参考書・教材

① テキスト…授業中に使います。

・川廷宗之・永野淳子編「アクティブラーニングで学ぶ介護過程ワークブック」株式会社みらい,2016年刊行

② 参考書…授業では使いません。自己学習用です。

・最新 介護福祉士養成講座9「介護過程」中央法規出版,2019年刊行

③ その他…授業では使いません。自己学習用です。

・川廷宗之編「介護教育方法の理論と実践」弘文堂,2019年刊行,pp145～159

・吉田志保・永嶋昌樹・半田仁・松本浩太郎・齊藤美由紀・川廷元之
「介護施設における本人のニーズを重視した個別支援（ケア）を適切に行うための方法として「介護過程」の実践に関しての考察,敬心・研究ジ

ジャーナル第2巻第1号,2018年6月,pp121～128

1 3 . その他教材

適宜「学習資料」の形で、必要な資料を配布致します。

1 4 . 他の授業との関連

「介護過程の展開」は、介護福祉士養成カリキュラムのそれぞれの領域の科目を基礎としながら、それらを結び付けて応用し、介護総合演習や介護実習を通して実践していく過程です。

学生達は実習の中で、実際の利用者に対し、利用者の状態や状況に応じたチームとしての介護過程を実践していく過程であり、介護福祉士養成教育の「かなめ」でもあります。

1 5 .成績評価の方法・採点基準

この科目の単位認定は、

- | | |
|---|-----|
| a.毎回の授業における意見表明やグループワークでの参加態度 | 40% |
| b.宿題やホームワークの作成状況 | 10% |
| c.「介護過程の展開方法をどのように学生に指導するか」についてのレポート（A4-1枚以上（1600字程度） | 50% |
| 合計100%のうち、60%以上で合格（単位習得）と致します。 | |

1 6 . 毎回の学習予定と主題 & 提出課題

全15時間・課程

〈単元1…介護過程の意義と目的の理解〉

テキストpp.16-18、その他配布資料

第1回 9月5日（日）9:30～12:40（午前） 「介護過程とは何か」

- * 介護実践における介護過程の意義と目的を理解する。
- * 根拠に基づく介護実践、個別ケアについて理解する。
- * 課題解決思考（科学的思考）について理解する。
- * 「介護過程」と「ケアプラン」の違いについて理解する。
- * 自立を支援するための介護とは何か、残存能力を活用する必要性について学ぶ（グループワーク）

〈単元2…アセスメント情報を収集するために〉

第2回 9月5日（日）13:20～16:30（午後）

テキストpp.75-78、その他配布資料

- * ICFの視点から必要な情報についてワークシートに記入できる。（グループワーク）
- * 足りない情報については、他職種からの情報をプラスすることができる。（ロールプレイ）
- * 情報と情報の関連付けについて説明できる。
- * 関連付けした情報を各領域で学んだ知識・技術を用い、統合できる。

- * 根拠に基づいた、課題とニーズの明確化（情報の解釈・関連付け・統合化、課題の抽出）をおこなう。
- * 課題の優先順位が理解できる。

〈単元3…個別援助計画の立案に向けて〉

第3回 9月12日（日）9:30～12:40（午前）

テキスト pp.87-90、pp91-94、pp109-116（グループワーク）

- * 個別援助計画立案に向けて（目標、達成時期）を理解する。
- * 個別援助計画立案に向けて、内容（具体策）を考える事ができる。
- * 事例による介護過程の展開、事例検討（利用者の状況・状態に応じた介護過程の展開）をおこなう。
- * 事例について、足りない情報について考え情報を再収集することができる。（ロールプレイ）

〈単元4…対象者の状態・状況に応じた介護過程の展開〉

第4回 9月12日（日）13:20～16:30（午後）

テキスト pp109-116、その他配布資料
（ブレインストーミング、KJ法）

- * 事例について、集めた情報を分析し、課題とニーズの明確化をおこなう。
- * 個別援助計画を立案し、実施、評価をおこなう。

〈単元5…多職種連携と、実践での介護過程について〉

第5回 11月13日（土）9:30～12:40（午前）

その他資料配布

- * 実習での「介護過程の展開」についての学生への指導方法について理解する。（他のグループが作成した個別援助計画について、もう一度考える）
- * 介護実習で展開した介護過程を発表する。（P172～P177、P182-183）
- * 個別援助計画を実施した場合における予測されるリスク（リスクマネジメント）について考える。

16. ホームワーク

授業の際に、次回扱うワークについて、受講生に指示いたします。

第1のホームワーク（宿題）は、指示されたワークや事例を事前に熟読しておくこととなります。

第2のホームワーク（宿題）は、毎回の授業で出される課題への対応です。お仕事や家事・子育てなど、お忙しいとは思いますが、時間は自分自身で作るものです。計画立てて、課題をおこなっていきましょう。

17. 本講におけるオンライン学習での学び方

1. メールによる情報交換・・・

此の授業では、受講生一講師間での、授業用資料の送付やレポート類の提出を、メールに

添付文書して送る方法で行います。

そのため、第1回の授業終了後、お手数ですが、受講生皆さんが、この講座の受講で使っているアドレスを、必ず（教員の指定アドレス）に送ってください。その際、必ず「件名」に「お名前」と「敬介教2021」とご記入ください。

（このアドレスは、受講期間中、講師のみが使用するものとします。受講生同士の意見交換等は是非行っていただきたいのですが、その場合の連絡先の交換は、受講生同志で行ってください。Zoomのチャットなどをご活用ください。）

2. Zoomでの参加について

①この講座は、Zoomで参加いただいておりますが、ウェビナー方式ではなく、ミーティング方式での参加になっています。これは、「インタラクション(意見交換など)のない授業は、「授業」ではない。」という、最近のアクティブラーニングの考え方を反映しているためです。（この詳しい内容は、授業中に触れます。）というわけですので、この授業は単に聞くだけではなく「参加」が前提です。又、受講生同志での意見交換の機会を多く設けますので、ぜひ、ともに学ぶ仲間を増やしてください。

②従って、授業中は基本的に、映像をオンにしてご参加ください。（映像が出ない場合は休憩中??）

③音声は騒音が入ってしまうと困るので、原則ミュートにしておいていただきたいのですが、状況に応じてすぐにミュート解除できる様にしておいて下さい。

④講義中に質問や意見等がある場合は、チャット機能を使って質問(意見)を送るか、発言したいという意思表示を行ってください。（ご発言いただける様、こちらから指名します。）手を挙げて連絡して下さるのも可ですが、こちらでは一人一人の画像が小さいので、見落とす場合があります。

⑤授業中に資料の共有として資料(原則として事前配布)を示す場面が、多々あります。出来るだけ、おおきな画像が見られるか、事前のプリントなどしてしまうかして、使えるようにしてご参加ください。

⑥授業を進めながら、この授業でのZoomへの参加の仕方や、守るべき内容等について、皆さんと共に、一定のルールを創っていきたいと思いますので、どんどんご提案下さい。

⑦この授業のZoomIDとパスコードなどは以下の通りです。（全回、同じ）
（事務局で記入します）

18. 一層の学びを深めたい人のために

この講座は、介護福祉士を養成する教員を目指す方のための講座です。

すでに教員として活躍されている方、高齢者福祉や障害者福祉の分野で活躍されている方、病院で医療職として活躍されている方など、様々な方が参加されています。

それぞれの専門職が、他の専門職をリスペクトして、お互い尊重しながら、楽しく、有意義な講座になるよう、私自身を含めて協力してまいりたいと思います。

また、素朴な疑問など、分からない事は、積極的に質問してください。受動的にならず、積極的に（但し、お互いを尊重し合いながら）参加していきましょう。